

技術・家庭科（家庭分野） 3年生

1 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

2 家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。



自分の生活を、自分の力で工夫し、より良い生活にできる力をつける!!

3 3年間の主な内容

A 家族・家庭生活

- 自分の成長と家族や家庭生活との関わり ○家族・家庭の基本的な機能
- 幼児の生活と家族 ○家庭生活と地域とのかかわり など

B 衣食住の生活

- 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ○中学生に必要な栄養を満たす食事
- 日常食の調理と地域の食文化 ○衣服の選択と手入れ
- 生活を豊かにするための布を用いた製作 ○住居の機能と安全な住まい方 など

C 消費生活・環境

- 金銭の管理と購入 ○消費者の権利と責任 など

4. 評価の観点と方法

知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身に付けているか。	定期テスト、実技テスト、実習・実技の手際の良さ・正確性、作品・レポートの完成度、ワークシート
思考・判断・表現	これからの生活を見通し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善しようとするなどして課題を解決する力を身につけているか。	定期テスト、ワークシート、作品製作への取組方作品・レポートへの取組内容
主体的に取り組む態度	家族や地域の人々と共に協力し、よりよい生活の実現や持続可能な社会を築くために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているか。	作品製作の自己評価用紙、発表、ワークシート、学習への取り組みの様子（家庭学習含む）

5. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	オリエンテーション A 幼児の生活と家族 ○幼児のころと今の自分 ○幼児の体の発達	10	
5	○幼児の心の発達 ○幼児の食生活（おやつ作り） ○発達にとってのおとなの役割 ○遊びが必要なわけ・遊びを支える環境	11	
6	A 幼児とのかかわり ○ふれあい体験の前に ○赤ちゃんふれあい体験	12	
7	○赤ちゃんふれあい体験レポートづくり ○子どもの成長と地域 A 家庭生活と地域のかかわり ○家庭生活と地域での活動	1	
8	○多様な人びとが暮らす地域	2	
9	○地域に暮らす高齢者 ○高齢者とのかかわり A 持続可能な家庭生活 前期期末テスト 3年間の学習を終えて	3	

技 術 科

6 持ち物

- ①毎回準備するもの ⇒ 教科書、ファイル、筆記用具
 ※ノートは使いません。毎時間プリントがありますので、そちらに記入し、提出してもらい、評価します。
 ※教科書とファイルは学校に置いておいてよいです。自分で判断して、家庭で学習をする場合は持ち帰ってください。
- ②必要に応じて準備するもの ⇒ 三角巾、エプロン、ハンカチなど ※使う時期が来たら連絡します。

7 授業について

- ①技術科と家庭科、それぞれの先生が授業をします。
- ②1・3年生は、前期に家庭分野、後期に技術分野の学習。2年生は前期に技術分野、後期に家庭分野の学習を行います。

**3年生の家庭科では、自分から他者（幼児や高齢者、多様な人びと）へ視点を向けて
 家庭生活だけでなく、地域や社会とのつながりも考えた学習を行います。
 自立に向けて視野を広げていこう!!**